

令和6年3月15日

48

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 足立 信也 殿

団体名 大分市大南地区文化財同好会
代表者名 会長 西 哲 弘
所在地 大分市大字中戸次4491-2
電 話 097-597-0259
担当者 [REDACTED]
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和 5年 8月 28日 |
| 交付決定番号 | 協働第 1056 号 |
| 2. 事業名 | 大南地区文化財等保存及び継承事業 |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 170,000円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 170,000円 |
| 5. 補助金の精算額 | 170,000円 |
| 6. 事業の成果 | |

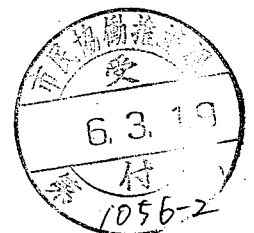
地域の文化の顕彰・継承及び史跡の保存を図ることを目的に、講演会、機関誌「落穂」の発刊、

出前授業、子ども向けパンフ等を通じて、地域住民及び市内外の方々に情報発信ができた。

また、大南公民館で、地区住民を対象に歴史講座を行い、文化の継承を図ることができた。

7. 添付書類
- (1) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2) あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3) 活動目標に関する報告書
 - (4) その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	大分市大南地区文化財同好会			
事業名	大南地区文化財等保存及び継承事業			
主な活動地域	※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。 ☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☒ 大南 ☐ 穂田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期 (月)	実施場所	受益 対象者数	実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	別紙の とおり			
使用した 広報手段 とその効果	使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） 機関誌「落穂」89号を会員、関係機関（国・県・市の図書館等）に寄贈。 「判田校区史跡めぐり双六」を判田小学校・判田中学校の児童・生徒に配布。 「吉野校区史跡めぐり双六」を吉野小学校・吉野中学校の児童・生徒に配布。 子ども向け「判田史跡リーフ」を『歴史散歩』で配布。 今年度行った広報の効果 大南公民館の講座「歴史散歩」・「古文書解説事始め」は、いずれも熱心に講師の話を聴講し、学びを積み重ねた。 戸次小・中の児童・生徒は、子ども向けリーフレットを嬉しそうに手に取り見入っていたので、地元の歴史や文化財への興味・関心が高まった。また、判田小・中の児童生徒は、史跡めぐり双六を楽しみ始めた。			
活動目標の報告	1 自己収益拡大に向けて 会員数：44名 会員以外への機関誌「落穂」販売冊数：39冊 大南地区の高齢化率は、32.1%となっている。特に、上戸次・竹中校区は50%を超えており、過疎化が益々深刻な状況となっている。 こうした中、会員の高齢化も進み、死亡したり、自力参加が困難となったりしたため、退会を余儀なくされるという事態が進んでいる。 小中学生向けの歴史リーフを配付したのに続き、郷土の歴史に親しむ学習に活用していただくため、今年度新たに判田版・吉野版の双六を発行した。 また、大南公民館主催講座の「古文書解説事始め」や「歴史散歩」、大野川合戦まつりなどの機会を通して、会員の勧誘を鋭意続けてきているものの、コロナ禍の影響もあり、会員数の減少傾向に歯止めがかからないことが、収益が増えない主たる原因となっている。 新年度は、校区ごとに行われるウォークラリー、学校への出前授業などでも、文化財同好会への勧誘活動を進めるとともに、魅力的な機関誌「落穂」づくりについても、創意工夫を図っていきたいと考えている。 また、機関誌「落穂」の販促のため、教室・講座のみならず、各種のイベントにおいても、販売ブースを設けて、売り上げを伸ばしたい。			

	2 受益対象者を増加させる取り組み、 対象者数 目標：1000人 実績：1615人 合戦まつりでの広報宣伝活動に力を入れるとともに、大南公民館や4校区の公民館、さらには小中学校との連携を工夫・充実するなどして、活動の活性化に努め、受益対象者の拡大を図った。 合戦まつりでは、250人の方が同好会のブースにお見えになり、四国や福岡県からの武将の子孫・関係者70人が、まつり会場や成大寺、慰霊碑などを訪れたので、役員を中心に対応した。 新たに作成し始めた校区双六は、判田・吉野両校区の学校に配布するとともに、自治会役員、老健施設、校区公民館などにも配布したので、たくさん（875人）の方々にご利用いただいている。 この他、大南公民館の主催講座には、延べ260人以上の参加があり、目標とする受益対象者数を大きく上回る実績を上げることができた。
事業の成果	地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） 11月に開催された「大野川合戦まつり」には、市内外からの多くの来訪者があり、隣接した「甲冑ブース」との相乗効果もあって、文化財同好会のブースもにぎわい、戸次川合戦に関する質問が多く寄せられ、丁寧に対応・説明した。その成果として、機関誌「落穂」も多少販売できた。 子ども向け歴史リーフは、4校区分すべてが出来上がり、社会科や総合の時間に活用されている。双六も判田小・中で活用されつつある。文化財の保存や継承することの大切さを認識してもらい、郷土を愛する気持ちが膨らみ、地域活性化の一助にもなった。（判田校区史跡めぐり双六も…） 市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） 戸次中学校の1年生は、地域学習の一環として、子ども向け戸次校区の史跡リーフを活用して、熱心に地域の歴史について学び、郷土愛の醸成に役立った。 高齢者が多い会員たちであるが、研修会をすると、知人・友人との久々の再会を喜び、さらに長生きをしようというエネルギーが湧いてくるそうだ。
来年度に向けた課題	会員の高齢化が進み、体が不自由になったり、死亡したりして、会員が減少傾向にある。それに伴い、会費収入が減少傾向にあり、調査・研究や案内等にも苦心している。 そこで、特に60代以下の会員募集に向け、大南公民館主催教室・講座、秋季研修会、各種イベントの機会を勧誘の取り組みを鋭意進めていきたい。 本会独自の校区別の「史跡めぐり双六」や杏の会と連携した「大南郷土カルタ」の作成を進めているので、より親しみの湧く、楽しい作品づくりに向けて創意工夫を重ねていきたい。 そして、これらの作品が出来上がったあかつきには、それらを楽しみながら、郷土理解を深め、郷土愛を育む契機となるような活動も展開していきたい。

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： 大南地区文化財等保存及び継承事業

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	170,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	88,000	2,000円×44名
事業収入	33,640	機関誌「落穂」売却益(1,000円×26冊, 500円×6冊) 県外への資料等の送付代金(4,640円)
その他	199	地域の団体より
合 計	291,839	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費	15,000	秋季研修会 講師謝礼金(宇佐歴博の原田氏)
旅費	0	
消耗品費	0	
燃料費	9,420	鶴賀城草刈り用ガソリン、混合オイル(春秋2回分)
食糧費	7,000	総会・秋季研修会用(一般参加者含む)飲物(茶)
印刷製本費	253,310	機関誌「落穂」発刊(89号)150部印刷代 同好会名称入り封筒代 判田校区史跡めぐり双六印刷代 吉野校区史跡めぐり双六図案作成・印刷代 既刊「落穂」の増版印刷代 県外在住者への資料等のコピー代
通信運搬費	7,109	案内用切手代、ハガキ代、「落穂」の寄贈代
広告料	0	
保険料	0	
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費	0	
合 計	291,839	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

令和5年度 大南地区文化財同好会実績報告

時 期 (月)	会議・活動、実施場所	受 益 者 対象者数	事 業 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
6月11日	鶴賀城関係整備(初夏) 鶴賀城本丸 及び 山崎台慰霊碑周辺	8名	道路整備・草刈り、枝打ち、落葉処理
10月25日	鶴賀城関係整備(秋) 鶴賀城本丸 及び 山崎台慰霊碑周辺	8名	道路整備・草刈り、枝打ち、落葉処理
5月18日 6月15日 7月20日 8月17日 9月21日 10月19日 11月16日 12月21日 1月18日 2月15日	<*大南公民館 教室> ー地域街づくり事業ー 古文書解説事始め(通年) (地域住民 他) 10回シリーズ 戸次の利光地区の 高橋家近世文書 及び 中判田の清田文書 の解説	19名 18名 18名 19名 20名 17名 17名 16名 17名 17名	講 師:大南地区文化財同好会 会 長 西 哲弘 場 所:大南公民館 研修室A 合計(延べ) 178名 (←見込み)
6月 1日 8月 3日 10月 5日 12月 7日 2月 1日	<*大南公民館 教室> 歴史散歩(通年) ① (地域住民 他) ② 5回シリーズ ③ ④ ⑤	21名 18名 16名 15名 16名	講 師:同好会 西 哲弘 会長 ①②③ 文化財課 坪根 伸也 氏 ④⑤ 場 所:大南公民館 研修室A ③:判田辰口の轟社 ⑤:市歴史資料館 合計(延べ) 86名
7月 4日 9月 5日 11月 7日 12月 5日 2月 6日	大南かるた制作会議	4名	大南地区4校区にある史跡や景観等の中から厳選し、読み札・取り札・解説書を制作中。 ○取り札の絵は、 <u>那賀 美代</u> さん (2022年度 県美展 最優秀作品制作) ○読み札とその解説は、西会長
6月24日	令和5年度 総会	34名	前年度総括、役員改選、活動方針・計画 等
8月10日 2月28日	史跡巡り双六(判田版)作成 同 (吉野版)作成 各1,000部発行	875名	既存の地図を活用し、校区一周双六を作成 判田小・中、吉野小・中、老健施設等に配布
11月 7日	「落穂(89号)」発刊 150部	44名	会員には、秋季研修会で配付 希望者には1000円で販売
11月11日	第19回 大野川合戦まつり	250名 70名	接遇対応:西会長 野尻副会長 戸高理事 県外からの視察者対応:高橋理事 (* 慰霊碑、成大寺、願行寺 等)
11月25日	令和5年度 秋季研修会	28名	演 題:「大分の石塔文化」 講 師:県歴博主任研究員 原田 昭一 氏
12月12日	戸次川合戦慰霊祭	30名	役員(会長・事務局長)が慰霊祭に参列 場 所:戸次校区 嶺地区 山崎台

計1,615名